

令和2年度 事業報告書

1. 助成事業

令和2年度の助成事業は、研究費助成、海外渡航費助成および長期間海外派遣滞在費助成の公募を行い、総額2,545万円を実施しました。令和2年度公募の概況は、以下の通りです。

(1) 研究活動費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する研究費の助成を目的とした研究費助成事業は、令和2年3月1日から4月15日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、89件の応募があり、選考委員会において、以下の71件の研究に対して助成を行うことを決定し、2,410万円の助成を実施しました。

1	ディープラーニングによる人工知能(AI)の蛍光腎病理診断法の開発 岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科 講師 喜多村 真治	300 千円
2	血漿高ヒスチジン糖タンパクの内因性 DAMPs 抑制機能の解析 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 講師 勅使川原 匡	250 千円
3	胎児期メチル水銀曝露と神経認知機能・エピジェネティクス所見の関連 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 教授 頼藤 貴志	260 千円
4	α -pinene による新規血液悪性腫瘍治療薬の開発 岡山大学病院 血液・腫瘍内科 助教 浅田 騰	300 千円
5	軟骨・骨組織誘導性ハイブリッド生体材料による新規関節軟骨再建法開発 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 助教 高畠 清文	250 千円
6	抗酸化物質が免疫担当細胞に与える影響 岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科 助教 増田 潤子	350 千円
7	免疫機能を内包する人工リンパ節の構築 岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科 助教 曲 正樹	400 千円
8	電気化学的手法による有機半導体分子の効率合成と活性評価 岡山大学大学院 自然科学研究科 准教授 光藤 耕一	400 千円
9	燃焼器内乱流火炎の高精度な光学計測を目指す数値的手法の構築 岡山大学大学院 自然科学研究科 助教 坪井 和也	450 千円
10	新生児期に形成される乳房組織細菌叢が乳がん発症に与える影響の解析 岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科 助教 岡田 宣宏	450 千円
11	近赤外吸収を示す含カルバゾールポルフィリン多量体の開発 岡山大学大学院 自然科学研究科 助教 前田 千尋	400 千円
12	計算機解析と実測との比較による貯水池の地形変化の解析手法実用化研究【特定研究分野】 岡山大学大学院 自然科学研究科 講師 神保 秀司	630 千円
13	旭川下流部の感潮域におけるアユの好適な産卵場の検討 岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授 吉田 圭介	450 千円
14	中小河川における洪水氾濫解析の高度化に関する研究【特定研究分野】 岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授 赤穂 良輔	1,000 千円
15	疎水性地盤材料の盛土斜面への適用とその大量製作方法の提案 岡山大学大学院 環境生命科学研究科 助教 金 秉洙	400 千円
16	建築開発許可制度における裁量的基準の運用に関する国際比較 岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授 堀 裕典	400 千円
17	異なる光スペクトルによるイネ地表根の重力屈性および乾物生産性への影響 岡山大学大学院 環境生命科学研究科 助教 富田 朝美	400 千円

- 18 自発的カルシウム変動を示す卵管および子宮平滑筋細胞を用いた収縮制御機構の細胞生物学的アプローチ
岡山大学大学院 環境生命科学研究科 助教 山本 ゆき 450 千円
- 19 気孔孔辺細胞の二酸化炭素応答にかかわる新規因子の機能解明
岡山大学大学院 環境生命科学研究科 助教 宗正 晋太郎 350 千円
- 20 サツマイモネコブセンチュウ抵抗性品種育成に向けた遺伝子機能解析
岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授 門田 有希 400 千円
- 21 岡山県蒜山ジャージーの生乳黄色度改善に向けた BC02 遺伝子情報の活用
岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授 辻 岳人 350 千円
- 22 光合成の光利用改善を目的としたアンテナタンパク質の機能解析
岡山大学 資源植物科学研究所 助教 小澤 真一郎 260 千円
- 23 植物共生細菌のメタノール走化性の機構と重要性の解明
岡山大学 資源植物科学研究所 准教授 谷 明生 350 千円
- 24 アスガルド古細菌から紐解く細胞形態の制御機構の分子進化
岡山大学 異分野基礎科学研究所 助教 千住 洋介 400 千円
- 25 難治性心不全患者に対する循環器看護師の意思決定支援モデルの開発
岡山県立大学 保健福祉学部 准教授 名越 恵美 200 千円
- 26 超音波を用いた看護師による爪のアセスメント方法の開発
岡山県立大学 保健福祉学部 准教授 佐々木 新介 200 千円
- 27 簡便な嚥下機能測定方法の構築と機能性を付加した嚥下調整食の開発
岡山県立大学 保健福祉学部 教授 山本 登志子 200 千円
- 28 桃の香りを有する日本酒の醸造技術の開発
岡山県立大学 保健福祉学部 教授 田中 晃一 300 千円
- 29 機械学習を用いた熱可塑性炭素繊維強化プラスチック溶着接合の強度・品質予測
岡山県立大学 情報工学部 助教 金崎 真人 200 千円
- 30 多人数不完全情報ゲームに対するプレイアルゴリズムとその分類
岡山県立大学 情報工学部 准教授 但馬 康宏 300 千円
- 31 傾斜型回折格子による構造的発色に関する数値的検討
岡山県立大学 情報工学部 准教授 若林 秀昭 200 千円
- 32 個別臨床的意義を有する心身健康情報を可視化するウェアラブル端末開発のための生体情報分析
岡山県立大学 情報工学部 教授 綾部 誠也 200 千円
- 33 遠隔者とのかわりを実感させる遠隔コミュニケーションシステム
岡山県立大学 情報工学部 教授 伊藤 照明 300 千円
- 34 スピン反転を利用した長寿命光電荷分離システムの創製
岡山理科大学 理学部 教授 満身 稔 300 千円
- 35 アレルギー性鼻炎における分子シャペロンの役割
岡山理科大学 理学部 准教授 橋川 直也 300 千円
- 36 恐怖記憶の消去促進作用に対するペプチド鼻腔内投与の影響
岡山理科大学 理学部 准教授 橋川 成美 300 千円
- 37 地殻深部流体の挙動解明に向けた岩石-水相互作用実験：地殻流体の組成に応じた反応素過程の制約
岡山理科大学 理学部 助教 東野 文子 400 千円
- 38 森林散策と都市散策における尿中タンパク質と脂質の酸化修飾バイオマーカーの比較研究
岡山理科大学 理学部 教授 汪 達紘 330 千円
- 39 イナミンの渡環反応を利用した含窒素パイ共役系化合物の合成－新奇含窒素ナノグラフェン創出への挑戦－
岡山理科大学 工学部 助教 奥田 靖浩 400 千円
- 40 AI による LP データを用いた定量的な危険度評価手法の開発【特定研究分野】
岡山理科大学 生物地球学部 准教授 佐藤 丈晴 1,000 千円
- 41 内向き整流性 K^+ チャネル遮断ペプチドの探索と作用の解明：抗うつ作用の機序の解明
倉敷芸術科学大学 生命科学部 教授 岡田 誠剛 370 千円

42	新規ドナーアクセプター型含ケイ素星型化合物の合成とその性質 倉敷芸術科学大学 生命科学部 教授 仲 章伸	400 千円
43	避難行動促進におけるメカニズムの解明－生理心理学的アプローチを用いて－【特定研究分野】 吉備国際大学 心理学部心理学科 准教授 橋本 翠	530 千円
44	冠水路歩行の負担低減を目指した長靴の流動抵抗低減化の試み【特定研究分野】 津山工業高等専門学校 総合理工学科 教授 細谷 和範	640 千円
45	肥料・農薬の過少・過多投与防止が可能な中山間および高齢化に適した半自動ドローン散布システムの開発 津山工業高等専門学校 総合理工学科 教授 小林 敏郎	380 千円
46	熱分解によるチタン製造プロセスの中間生成物（硫化チタン）製造方法の研究 津山工業高等専門学校 総合理工学科 講師 関 一郎	350 千円
47	生体深部の非侵襲・三次元・動的イメージングを実現する新規蛍光プローブの開発 津山工業高等専門学校 総合理工学科 講師 守友 博紀	300 千円
48	ナス病原性に重要な青枯病菌エフェクターの同定と耐病性母本選抜 岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所 専門研究員 向原 隆文	250 千円
49	放線菌における Sec 系分泌促進因子の探索 岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所 流動研究員 楊 霊麗	200 千円
50	日本の伝統食材サトイモを疫病から守る!RNAseq による防御マーカーの作製と免疫力の向上による防除技術の開発 岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所 特別流動研究員 鳴坂 真理	250 千円
51	モモ花粉の初期発生を阻害し不稔を引き起こす新規遺伝子の同定 岡山県農林水産総合センター生物科学研究所 流動研究員 北川(原)美由紀	200 千円
52	栽培化により失われたトマトの短日性を支配する鍵遺伝子の解明 岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所 専門研究員 後藤 弘爾	150 千円
53	抑制性 DAMPs の新規同定と炎症性疾患への寄与の解明 就実大学 薬学部 講師 渡邊 政博	200 千円
54	岡山県産黄ニラの抗酸化作用機序の解明 就実大学 薬学部 助教 川上 賀代子	180 千円
55	In vivo imaging を用いた糸球体内皮 Glycocalyx の Hyaluronan と CD44 陽性 Leukocyte の糖尿病性腎症進展における病態機序の解明 川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学 講師 角谷 裕之	400 千円
56	脾臓の形成過程における核内受容体 NR5A1 の機能解明 川崎医科大学 解剖学教室 教授 嶋 雄一	200 千円
57	新しい細胞動態評価法でスクリーニングした抗腫瘍薬の応用 川崎医科大学 生化学教室 教授 山内 明	200 千円
58	活性酸素生成酵素 Nox の制御機構の破綻メカニズムの解明 川崎医科大学 生化学教室 助教 宮野 佳	200 千円
59	嗅覚障害の観点から考察する嗅覚調整機能 川崎医療福祉大学 医療技術学部 教授 清蔭 恵美	150 千円
60	旨味成分の健康保持・増進効果の検証 川崎医療福祉大学 医療技術学部 講師 宮田 恵多	200 千円
61	冬季山岳活動における低体温症予防のためのガイドラインの開発 川崎医療福祉大学 医療技術学部 助教 和田 拓真	300 千円
62	高脂肪食餌性 dysbiosis は食物繊維摂取と運動で改善するか 川崎医療福祉大学 医療技術学部 助手 青木 孝文	200 千円
63	疲労を伴う身体活動性低下に対するアセチルカルニチンの回復促進効果に関する検討 川崎医療福祉大学 医療技術学部 講師 小柳 えり	200 千円
64	老化による筋力低下に対するステロイド類と基礎運動量の影響の行動学的解析 川崎医療短期大学 医療介護福祉科 准教授 平口 鉄太郎	150 千円
65	水害・土砂災害を中心とした災害予防法制の研究～条例論を中心に【特定研究分野】 山陽学園大学 地域マネジメント学部 准教授 澤 俊晴	200 千円

66	保育士のキャリア選択要因を抽出するための TEA インタビュー調査 [※その他分野] 山陽学園大学 総合人間学部 准教授 松浦 美晴	200 千円
67	キンダートーネン（子供体操）運動学習効果の科学的検証および SEC1 モデルによるナレッジ・ マネジメント導入に関する研究 [※その他分野] 中国学園大学 国際教養学部 准教授 佐々木 公之	500 千円
68	下肢踏み出し時間を用いた転倒予防評価ツールの開発 環太平洋大学 体育学部 准教授 廣重 陽介	330 千円
69	rGONAD 法を用いたアルポート症候群モデルラットの作製とその機能解析 重井医学研究所 分子遺伝部門 部長 松山 誠	170 千円
70	生活環境における天然放射性希ガスの時空間分布を支配する人間活動や環境因子の解析 日本原子力研究開発機構 人形峠環境技術センター 研究副主幹 迫田 晃弘	320 千円
71	大原美術館 工芸館の研究 公益財団法人大原美術館 学芸課 学芸統括 柳沢 秀行	1,000 千円

(2) 海外渡航費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する海外渡航費の助成を目的とした海外渡航費助成事業は、令和2年3月1日から4月15日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、6名の応募があり、選考委員会において、4名の研究者に対して総額100万円の助成を行うことを決定しました。その後、2名の海外渡航が取り消され助成金が返金されたため、今年度は以下の2名の研究者に対して45万円の助成を実施しました。

1	生殖補助医療技術の発展に向けた共同研究 岡山大学大学院 環境生命科学研究所 准教授 若井 拓哉	200 千円
2	環太平洋国際化学会議に参加・発表 岡山理科大学 理学部 教授 石原 浩二	250 千円

(3) 長期間海外派遣滞在費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する海外派遣滞在費の助成を目的とした長期間海外派遣滞在費助成事業は、令和元年9月15日から10月31日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、2名の応募があり、選考委員会において、以下の1名の研究者に対して助成を行うことを決定し、90万円の助成を実施しました。

1	Myo-CAD/CAM デンチャー作製のデジタルワークフローの開発と無歯顎患者を対象にした Myo-CAD/CAM デンチャーの臨床研究 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 助教 三野 卓哉	900 千円
---	---	--------

2. 優秀研究者表彰事業

この事業は、当財団の研究活動費助成事業で実施した研究をもとに、学会等に論文として発表することで学術的に評価された研究実績を上げた研究者や、研究成果を実用化させるなど大きく社会に貢献・活用される功績を上げた研究者を表彰するものです。

令和2年度は、12件の応募があり、審査の結果、受賞者は以下の2名に決定しました。

前田 千尋（岡山大学大学院 自然科学研究科 助教）

【研究題目】 「含ホウ素機能性色素を基盤とした円偏光発光材料の開発」
：平成30年度～令和元年度研究活動費助成事業

【審査評価】 研究成果を論文発表し、優れた学術的功績を上げている

長尾 桂子（岡山理科大学 理学部 講師）

【研究題目】 「宇宙から飛来する暗黒物質による散乱過程の理論的研究」
：令和元年度研究活動費助成事業

【審査評価】 研究成果を論文発表し、優れた学術的功績を上げている

令和2年度優秀研究者賞受賞者には、表彰状と副賞（研究奨励金30万円）が贈呈されます。

また、令和2年度の事業費として実施された「令和元年度優秀研究者表彰事業」は、2名の受賞者に対して表彰状と副賞を贈呈し、679千円を支出しました。

3. 研究者交流事業

定款第4条第1項第6号に掲げる事業は、次のとおり総額710千円を実施しました。

(1) 交流会事業

この事業は、助成を受ける研究者とその関係者の交流並びに情報交換を目的に、優秀研究者表彰式開催後と研究発表会開催後に開催されますが、令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み中止としました。

(2) 研究発表会事業

この事業は、助成を受ける研究活動における最先端技術の開発状況を研究者が自ら発表することにより、研究成果の普及を促し、各分野における技術開発の推進及び発展に寄与することを目的に行うものです。令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み中止としました。

(3) 事業報告書の作成

令和2年度の事業状況及び学術研究費助成の研究成果報告書をまとめた事業報告書160部を作成しました。尚、この事業報告書の作成費は令和3年度予算により実施されます。

また、令和2年度の事業費として実施された「令和元年度事業報告書」作成費は、710千円となります。

4. 処務の概要

(1) 役員に関する事項

理 事

(令和3年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
理事長	山地 弘	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 代表取締役社長	
理 事	千葉 喬三	非常勤	無	中国学園大学 学長	
理 事	波田 善夫	非常勤	無	岡山理科大学 名誉教授	
理 事	大崎 紘一	非常勤	無	岡山商科大学 副学長	
理 事	沖 陽子	非常勤	無	岡山県立大学 学長	
常務理事	奥山 一典	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 調査役	

監 事

(令和3年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
監 事	福原 一義	非常勤	無	福原一義公認会計士事務所	
監 事	中村 洋文	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 経営管理本部 経理課長	

評 議 員

(令和3年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
評議員長	松原 利直	非常勤	無	株式会社ウエスコ 代表取締役社長	
評議員	藤原 健史	非常勤	無	岡山大学 大学院 環境学研究科 教授	
評議員	富田 栄二	非常勤	無	中国職業能力開発大学校 校長	
評議員	高橋 吉孝	非常勤	無	岡山県立大学 保健福祉学部 教授	
評議員	原田 育秀	非常勤	無	株式会社中国銀行 代表取締役専務	
評議員	北村 彰秀	非常勤	無	株式会社ウエスコ 代表取締役副社長	

(2) 職員に関する事項

(令和3年3月31日現在)

職 名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	担当事務	現職名	備考
職 員	永山 彰	非常勤	無	総務全般	(株)ウエスコホール ディングス 社員	
職 員	本間 誠之	非常勤	無	総務全般	(株)ウエスコホール ディングス 社員	

(3) 役員会等に関する事項

①理事会

回	開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第1回	令和 2 年 6 月 11 日	・ 令和元年度事業報告及び附属明細書の承認の件 ・ 令和元年度貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの附属明細書の承認の件 ・ 第1回評議員会開催の件 ・ 令和2年度助成者決定の報告の件 ・ 銀行借入額決定の件	書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面により報告した 書面により報告した
第2回	令和 2 年 10 月 19 日	・ 株式会社ウエスコホールディングス定株主総会における議決権行使の件	書面で同意を得た
第3回	令和 2 年 12 月 4 日	・ 第2回評議員会開催の件	書面で同意を得た
第4回	令和 3 年 1 月 26 日	・ 令和3年度事業計画承認の件 ・ 令和3年度収支予算承認の件 ・ 特定資産取崩しの件 ・ 銀行借入の件	書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面で同意を得た
第5回	令和 3 年 3 月 25 日	・ 選考委員2名選任の件	書面で同意を得た

②評議員会

回	開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第1回	令和 2 年 6 月 25 日	・ 令和元年度事業報告・貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの附属明細書の承認の件	書面で同意を得た
第2回	令和 3 年 1 月 26 日	・ 令和3年度事業計画承認の件 ・ 令和3年度収支予算承認の件 ・ 特定資産取崩しの件 ・ 銀行借入の件	書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面で同意を得た

(4) 主務官庁等の許可、認可及び承認に関する事項

該当なし

(5) 寄附金に関する事項

該当なし

(6) 契約に関する事項

該当なし

(7) 主務官庁の指示に関する事項

該当なし

(8) 税法上の収益事業の有無

該当なし

(9) その他の注意事項

該当なし

5. 事業報告書の附属明細書

令和３年３月期における重要事項は無く、期末における事業報告書の附属明細書に記載すべき事項はありません。

貸借対照表

令和3年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度 (R3/3/31)	前 年 度 (R2/3/31)	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,656,108	5,575,411	△ 919,303
流動資産合計	4,656,108	5,575,411	△ 919,303
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	934,621,000	661,984,000	272,637,000
普通預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	954,621,000	681,984,000	272,637,000
(2)特定資産			
公益目的事業積立預金	12,000,000	8,312,975	3,687,025
特定資産合計	12,000,000	8,312,975	3,687,025
(3)その他固定資産			
什器備品	69,889	186,370	△ 116,481
その他固定資産合計	69,889	186,370	△ 116,481
固定資産合計	966,690,889	690,483,345	276,207,544
資産合計	971,346,997	696,058,756	275,288,241
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	91,300	69,300	22,000
流動負債合計	91,300	69,300	22,000
負債合計	91,300	69,300	22,000
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受贈投資有価証券	904,000,000	634,000,000	270,000,000
投資有価証券	30,621,000	27,984,000	2,637,000
受贈定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産運用益	12,000,000	8,312,975	3,687,025
指定正味財産合計	966,621,000	690,296,975	276,324,025
(うち基本財産への充当額)	954,621,000	681,984,000	272,637,000
(うち特定資産への充当額)	12,000,000	8,312,975	3,687,025
2. 一般正味財産	4,634,697	5,692,481	△ 1,057,784
正味財産合計	971,255,697	695,989,456	275,266,241
負債及び正味財産合計	971,346,997	696,058,756	275,288,241

正味財産増減計算書

令和2年4月1日 から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度 (R2.4.1-R3.3.31)	昨年度 (H31.4.1-R2.3.31)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
①基本財産運用益			
基本財産有価証券受取利息	609,000	609,000	0
基本財産受取利息	318	288	30
基本財産受取配当金	0	0	0
基本財産運用益取崩額	8,312,975		
基本財産受取配当金振替額	18,000,000	20,437,525	△ 2,437,525
基本財産運用益計	26,922,293	21,046,813	5,875,480
②受取寄附金			
受取寄附金	0	80,000	△ 80,000
受取寄附金計	0	80,000	△ 80,000
③雑収益			
事業費返金	0	350,000	△ 350,000
有価証券品貸料	0	1,392,939	△ 1,392,939
受取利息	0	0	0
雑収益計	0	1,742,939	△ 1,742,939
経常収益計	26,922,293	22,869,752	4,052,541
(2)経常費用			
①事業費			
支払助成金	25,450,000	23,250,000	2,200,000
表彰事業	679,200	655,836	23,364
会議費	0	1,264,048	△ 1,264,048
印刷費	709,709	749,790	△ 40,081
消耗品費	128,927	214,737	△ 85,810
旅費交通費	0	40,000	△ 40,000
通信費	174,272	141,574	32,698
事務委託費	384,000	384,000	0
家賃	96,000	96,000	0
減価償却費	110,657	20,588	90,069
事業費計	27,732,765	26,816,573	916,192
②管理費			
会議費	39,300	69,871	△ 30,571
消耗品費	6,722	0	6,722
事務手数料	40,666	75,193	△ 34,527
旅費交通費	1,950	76,170	△ 74,220
通信費	0	5,313	△ 5,313
雑費	0	100,000	△ 100,000
租税公課	1,080	480	600
事務委託費	96,000	96,000	0
家賃	24,000	24,000	0
減価償却費	5,824	1,083	4,741
支払利息	31,770	30,258	1,512
管理費計	247,312	478,368	△ 231,056
経常費用計	27,980,077	27,294,941	685,136
当期経常増減額	△ 1,057,784	△ 4,425,189	3,367,405
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,057,784	△ 4,425,189	3,367,405
当期一般正味財産増減額	△ 1,057,784	△ 4,425,189	3,367,405
一般正味財産期首残高	5,692,481	10,117,670	△ 4,425,189
一般正味財産期末残高	4,634,697	5,692,481	△ 1,057,784
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価益	272,637,000	0	272,637,000
基本財産評価損	0	△ 46,733,000	46,733,000
基本財産受取配当金	30,000,000	28,750,500	1,249,500
一般正味財産への振替額	△ 26,312,975	△ 20,437,525	△ 5,875,450
当期指定正味財産増減額	276,324,025	△ 38,420,025	314,744,050
指定正味財産期首残高	690,296,975	728,717,000	△ 38,420,025
指定正味財産期末残高	966,621,000	690,296,975	276,324,025
III 正味財産期末残高	971,255,697	695,989,456	275,266,241

正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日 から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	令和2年度(R2.4.1-R3.3.31)			
	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産有価証券受取利息	578,550	30,450		609,000
基本財産受取利息	318	0		318
基本財産運用益取崩額	8,312,975	0		8,312,975
基本財産受取配当金振替額	16,500,000	1,500,000		18,000,000
基本財産運用益計	25,391,843	1,530,450		26,922,293
② 受取寄附金				
受取寄附金	0	0		0
受取寄附金計	0	0		0
③ 雑収益				
事業費返金	0	0		0
有価証券品貸料	0	0		0
雑収益計	0	0		0
経常収益計	25,391,843	1,530,450		26,922,293
(2) 経常費用				
① 事業費				
支払助成金	25,450,000			25,450,000
表彰事業	679,200			679,200
会議費	0			0
印刷費	709,709			709,709
消耗品費	128,927			128,927
旅費交通費	0			0
通信費	174,272			174,272
事務委託費	384,000			384,000
家賃	96,000			96,000
減価償却費	110,657			110,657
事業費計	27,732,765	0		27,732,765
② 管理費				0
会議費		39,300		39,300
消耗品費		0		0
交際費		6,722		6,722
事務手数料		40,666		40,666
旅費交通費		1,950		1,950
通信費		0		0
雑費		0		0
租税公課		1,080		1,080
事務委託費		96,000		96,000
家賃		24,000		24,000
減価償却費		5,824		5,824
支払利息		31,770		31,770
管理費計	0	247,312		247,312
経常費用計	27,732,765	247,312		27,980,077
当期経常増減額	△ 2,340,922	1,283,138		△ 1,057,784
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 2,340,922	1,283,138		△ 1,057,784
当期一般正味財産増減額	△ 2,340,922	1,283,138		△ 1,057,784
一般正味財産期首残高	2,746,383	2,946,098		5,692,481
一般正味財産期末残高	405,461	4,229,236		4,634,697
II 指定正味財産増減の部				0
基本財産評価益	259,005,150	13,631,850		272,637,000
基本財産評価損	0	0		0
基本財産受取配当金	28,500,000	1,500,000		30,000,000
一般正味財産への振替額	△ 24,812,975	△ 1,500,000		△ 26,312,975
当期指定正味財産増減額	262,692,175	13,631,850		276,324,025
指定正味財産期首残高	656,178,800	34,118,175		690,296,975
指定正味財産期末残高	918,870,975	47,750,025		966,621,000
III 正味財産期末残高	919,276,436	51,979,261		971,255,697

財務諸表に対する注記

令和2年4月1日 から令和3年3月31日まで

1. 継続事業の前提に関する注記
- 該当はありません。
2. 重要な会計方針
- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
- 満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券は、
期末日の市場価格等に基づく時価法を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
- 固定資産の減価償却は、次の方式を採用している。
定率法
- (3) 消費税等の会計処理
- 消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
- 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	20,000,000	0	0	20,000,000
投資有価証券	661,984,000	272,637,000	0	934,621,000
小 計	681,984,000	272,637,000	0	954,621,000
特定資産				
公益目的事業積立預金	8,312,975	12,000,000	8,312,975	12,000,000
小 計	0	12,000,000	8,312,975	12,000,000
合 計	681,984,000	284,637,000	8,312,975	966,621,000

(注) 投資有価証券の当期増減額は、前事業年度末における帳簿価額と時価の差額（評価損益）と期中の有価証券の取得および売却を表示しております。

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
- 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
普通預金	20,000,000	20,000,000	0	0
投資有価証券	934,621,000	934,621,000	0	0
小 計	954,621,000	954,621,000	0	0
特定資産				
公益目的事業積立預金	12,000,000	12,000,000	0	0
小 計	12,000,000	12,000,000	0	0
合 計	966,621,000	966,621,000	0	0

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
- 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品			
PC一式	208,041	138,152	69,889
合 計	208,041	138,152	69,889

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
- 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益取崩額へ充当	8,312,975
基本財産受取配当金振替額へ充当	16,500,000
管理費充当額	1,500,000
合 計	26,312,975

7. その他
- 該当はありません。

財産目録

令和3年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
1. 流動資産	現金預金	普通預金 山陰合同銀行/岡山支店	運転資金として	58
		普通預金 中国銀行/奉還町支店	〃	1,544,227
		普通預金 三菱UFJ銀行/岡山支店	〃	3,111,823
	現金預金合計	4,656,108		
流動資産合計				4,656,108
2.固定資産				
基本財産	投資有価証券	ソフトバンク株式会社社債	公益目的保有財産であり、運用益の95%を研究助成事業等の財源として使用し、残り5%は管理費等の財源として使用している。	30,621,000
	普通預金	中国銀行/奉還町支店	公益目的保有財産であり、運用益を助成事業の財源として使用している。	20,000,000
	投資有価証券	株式会社ウエスコホールディングス株式2,000千株 内、618千株について貸株契約を締結	公益目的保有財産であり、運用益の95%を研究助成事業等の財源として使用し、残り5%は管理費等の財源として使用している。 当該株式は、貸借銘柄であり日本証券金融株式会社との間に貸株契約を締結している。	904,000,000
	基本財産合計	954,621,000		
特定資産	公益目的事業積立預金	普通預金 山陰合同銀行/岡山支店	公益目的事業の研究助成事業等の財源として積み立てている。	8,312,975
	公益目的事業積立預金	普通預金 中国銀行/奉還町支店	公益目的事業の研究助成事業等の財源として積み立てている。	3,687,025
その他固定資産	什器備品	PC一式	共有財産であり、減価償却費の95%を事業の費用とし、残り5%は管理費の費用として使用している。	69,889
固定資産合計				966,690,889
資産合計				971,346,997
1. 流動負債				
	未払金	株式会社357に対する未払額	2020年ホームページ更新代未払い分として	91,300
流動負債合計				91,300
負債合計				91,300
正味財産				971,255,697